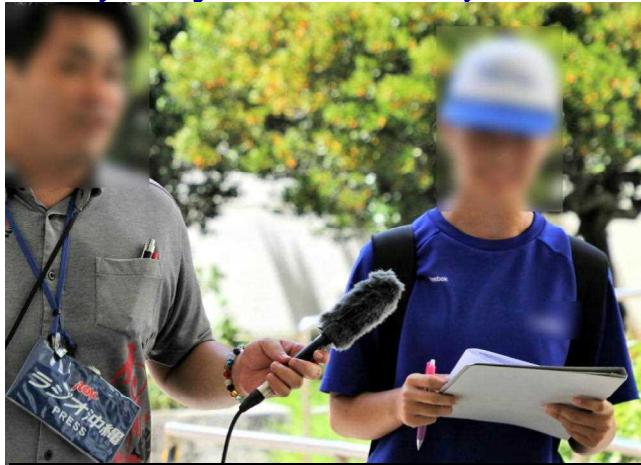


# 愛楽園訪問で差別を考える

# 成長・貢献・感謝

2組 O・Yさん  
私は、事前学習と今日の愛楽園訪問まではハンセン病のことはあまり知りませんでした。今日の学習（金城雅春さんのお話し）で、ハンセン病への差別や偏見、人権を否定する言動がどのようなものであったかを学ぶことができました。また、神経が麻痺したり、怪我をしても感覚がないという、ハンセン病の病状についても知ることができました。

今後、二度とハンセン病による差別や偏見が起こらないよう、世界中に伝えて行きたいと考えました。



取材に訪れたラジオ沖縄さんからインタビューを受けるYさん



安心して下さい。休憩時間です。



2組 T・Aさん  
今日の講話を聞いて印象に残ったことは「声なき子どもたちの碑」です。生まれてくるべき子ども達の貴い命が奪われていたと考えると心が痛かったです。他にも、家を焼かれた事件があったことを聞き、ここまでひどい差別があったのかと驚きました。今も完全にハンセン病への差別や偏見がなくなった訳ではないと聞きました。ハンセン病だった人達も幸せに、当たり前で普通の生活が送れるよう、自分達ができることを探していきたいと思います。

今日は、ハンセン病や愛楽園のことを教えて下さり、本当にありがとうございました。

羽地中学校  
学校だより 90 号  
R1. 9. 10

真喜屋区には、立派な獅子が二つあります。一つは前からある獅子。豊年祭本番で登場します。もう一つは同じもので、レプリカです。練習時はレプリカを使用し、獅子本体の劣化を防いでくれます。獅子舞は、どこでも子ども達の人気者です。



# 真喜屋豊年祭



「長者の大王」では、若衆踊りのかぎやで風でO・Yさんが出演していました。また、卒業生のS・Mさん、O・Aさん達も「むんじゆる」で華を添えています。小学生達も「海のチンポラー」「鳩間節」で観衆を盛り上げていました。楽しい豊年祭でした。